

御嵩町「少年の主張大会」に出場しました

【令和6年6月15日】

6月15日(土)、今年度の御嵩町「少年の主張大会」が中公民館で実施されました。町内の小・中学校に在籍する児童・生徒が対象ですが、本校3年のマルティン・グレイスさんも特別参加しました。

「今、生きている世の中」の題で、誰もが平和に暮らしたいのに世界のどこかで続いている「戦争」をテーマに思いを伝えました。お互いがわかり合えるためには、「良いコミュニケーションをとること」が大切であり、そのためには「共感」、「開放」、「辛抱」、そして「お互いを尊敬し合うこと」を挙げ、「より良い明日、より良い未来を目指しましょう」と締めくくりました。

発表は多くの人々の心に響き、「特別賞」を受賞しました。審査員の方からは「戦争や平和について、自分の考えをみんながしっかり持つ必要があると学ばせてもらった。」「日本語を丁寧にしかも美しく話されていた。」等、温かいお言葉をいただきました。

グレイスさんの発表内容は、御嵩町教育センターだより「朝霧」に掲載される予定です。

